

特別追加レッスンレポート

ニューヨーク式基礎会話
6ヶ月特訓コース

Y. A.

2015. 11. 7.

10:20 am ~

銀座書齋にて。

〈先生より講義〉

今日はベートーヴェン作曲、交響曲第5番、ハ短調作品67
を音だけで鑑賞します。鑑賞中は、“本当の意味での強さ”
とは何かを思索してみてください。エレガントさもそうですが、
自ら他人に見せつけようとするものではなく、他人が自然と
その人に対して感じとるものです。強さも同じです。強さ
の要素のひとつに“will power”があります。これは、意志
の力です。この積み重ねはとても大きなパワーになります。
今後、弟子選考試験の準備に入るにあたり、まだまだ頑張
る必要があります。例えば弟子H.Kさんの一週間の勉強量。
大体、平均して100枚ほどのレポートを提出します。
(レポート拝見。) 彼女でもまだ学問の入口に立、たばかり
なのです。

これから険しい道に入るにあたり、まずは弟子選考試験を
無事に受けられるように成功を祈、っています。

以上のような内容で励ましのお言葉をいただく。

<レッスンの流れ>

- ・ 奥の聖域へ移動.
- ・ ソファ-まん中へ座らせていただく.
- ・ 心を浄化.
- ・ 音楽鑑賞
- ・ 余韻を味わう.
時間.
- ・ 席へ戻る.
- ・ 先生に簡単な感想を伝え.
レポート提出のお約束.
- ・ レッスン終了.

ルードヴィヒ・ファン・ベートーヴェン作曲
交響曲第5番ハ短調作品67.

<今回の特別追加レッスンで印象に残っていること>

11月5日のレッスンにて今回の特別追加レッスンのお話をいただき、生井先生のお心遣いがとても嬉しかった。当日は入学時に書いた自己紹介の紙が机にあり、初心を思い出し、改めて気持ちが引き締まった。そして、音楽鑑賞の際に奥の聖域へ移動すると、美しくライトアップされた絵、ろうそく、音質等、生井先生が丁寧に準備して下さったことが感じられ、この先生のお心に応えたいと強く感じた。それには本物を目指し勉強を積み重ねる以外にないと思った。

〈ベートーヴェン作曲交響曲第5番ハ短調作品67を鑑賞して〉

自宅での鑑賞を含め、今回で50回目となりました。毎日、朝の清々しい時間に聴いてエネルギーをもらう感覚ですが今回の鑑賞では普段よりも更に強いエネルギーをもらったように感じ、体の隅々まで新鮮な血液が流れたのを感じました。そんな中で“本当の強さ”とは何かを思索。強さというと、何か目に見える姿のよなものに相像してしまいがちではありますが真の意味での強さとは、静かに心の底で絶えることなく燃える炎のようなイメージが思い浮かびました。この炎が will power で、自分がやるべき事を忍耐強くやり続けるための志だと感じました。人間は完璧ではないので時には志の炎が何かをきっかけに消えかけてしまう。ときがあるかもしれません。そんな時にはベートーヴェンの交響曲第5番が自分の心に再びエネルギーを与えてくれることを実感しました。

今日は大変重要な気付きがあり、このような機会を準備して下さい、生井先生に感謝しております。

“本当の強さ”がにじみ出る自分になれるよう努めてまいります。